

◇11月の代禱・信施奉獻先

▽障害者週間のため▽済州(チエジュ)教会・西帰浦(ソギポ)教会の働きのため▽聖

救主教会キッドスクール(幼稚園)のため▽人権活動を支

える主日(27日)

◇東京教区再編成準備室報告

(11月11日)

・はじめに主教より、来年の人事については、協働司牧体制として教役者を派遣するが、その教会の括りはあくまでも人事配置のためのものがあり、再編成のエリア区分を示すものではない、との確認がなされた。

・「教区組織再構築」部会のチーフに後藤務氏(東京聖三一教会信徒)着任

・11月の教区会での表明内容及び来年3月の教区会で提出する議案について協議

・エリア分けに関しては、各教会で議論を深めてほしいと

いう意見が出された。

・組織再構築についての方向性について検討協議

(次回12月9日)

◇【土曜開催】東京教区青年会

全国青年大会に参加したメンバーたちの報告を聴く会

対象年齢・18歳(高校卒業年次)〜35歳

日時・11月26日(土) 14時〜

場所・東京諸聖徒教会

参加費・無料

問合せ・03(34331)

2822(聖アンデレ主教座聖堂)

e-mail: seihenkaiko@nssk.org

詳細は、各教会の青年会ポスターをご参照下さい。

▽オルガン修復感謝コンサート

日時・11月20日(本日) 14時

開演(13時半開場)

場所・聖マーガレット教会

演奏・今井奈緒子

曲目・「わが魂よ、いまこそ

主を讃えよ」(M. プレトリ

ウス)ほか

入場無料(献金あり)

▽熊本地震被災者支援チャリ

ティコンサート

日時・11月27日(日) 13時半

場所・東京聖三一教会 聖堂

オルガン演奏・崎山裕子

入場無料(献金あり)

▽オルガニスト・ギルド・コ

ンサート

日時・11月27日(日) 14時開

演(13時半開場)

聴講料・無料

講師・北川規美子氏(大阪教

区聖贖主教会信徒)

場所・阿佐ヶ谷聖ペテロ教会

演奏・聖ペテロ教会オルガン

奏楽者有志

入場無料(席上自由献金あり)

▽日本聖公会史談会開催

日時・12月3日(土) 10時〜

12時

場所・管区事務所3F会議室

テーマ・「ヒルダ・ミツシヨ

ンとエピファニー修女会」

この研究テーマで、今も調

査中です。

1

今週・来週の予定

11月20日~12月3日

- 20 (日) 降臨節前主日
主教巡回 東京聖マルチン教会
多摩G教会協議会
環状G教会協議会
モニカ会幹事会
東日本大震災を憶えて祈る
(東京諸聖徒教会)
- 23 (水・休) 第127(定期)教区会
- 24 (木) 山手G牧師協議会
- 25 (金) 信仰と生活委員会
- 26 (土) 教区青年会(東京諸聖徒教会)
降臨節前夕 光の礼拝
(聖アンデレ主教座聖堂)
- 27 (日) 降臨節第1主日
主教巡回 目白聖公会
城南G教会協議会
下町G教会協議会
山手G教会協議会
- 29 (火) 聖職養成委員会
広報委員会
- 30 (水) 資料保全委員会
- 12月
2 (金) 人権委員会

申込み：11月29日迄にお知らせください。携帯電話090-1799-7469 / e-mail:bunshohokanin@naskk.org (諫山まど)

参加費：幼児から18歳まで無料、大人300円
問合せ：stagnes.kodomo@gmail.com

当日のお手伝いボランティアを募集中！

▽クリスマス ジャズライブ

日時：12月4日(日) 13時半

場所：聖マルコ教会パリッシュホール

演奏：金子健、中嶋錠二、今村健太郎、西澤宏佳
入場無料、会場献金あり

▽クリスマス ファミリーコンサート

日時：12月11日(日) 14時

場所：東京聖三一教会 聖堂
出演：小貫多喜子(ソプラノ)、渡邊かや(ハープ)
入場無料

▽第22回世界AIDS・DAY

記念礼拝

日時：12月4日(日) 17時

場所：牛込聖バルナバ教会
お話し：八木靖之師(日本基督教団聖蹟桜ヶ丘教会牧師)

◇堅信受領

11月13日

三光教会
▽三澤清太▽三邊晶子▽三邊莉子▽土井優美▽水谷恭子▽鈴木あず(三光)

▽アグネスこども食堂開設

日時：12月10日(土) 12時～15時(毎月第2土曜日開催)

場所：大森聖アグネス教会ホール

◆とこしえの平安

10月29日 坂 正流子(103)

11月13日 浦島 利雄(88)
聖フランシス聖エリザベス

▽信徒講座(主教座聖堂主催)

・福音に聴く C年

日時：11月24日(木) 14時

講師：布川悦子氏

参加費：500円

・ギリシヤ語講座

日時：11月26日(土) 10時半

講師：挽地 茂男牧師

参加費：2千円(1回)

◇堅信前陪餐 Q & A ④

Q 11：陪餐の大切な意味は何ですか。

A 11：陪餐とは、キリストの体と血であるパンとぶどう酒をいただくことで、これによって「わたしたちは常にキリストにおり、キリストは常にわたしたちと共におられる(祈祷書 181頁) ことが示されます。洗礼を受け、キリストと共に生きる新しい命にあずかった人々はすべて、陪餐へと招かれています。また、「キリストと共に囲む食卓」という聖餐の性格が、近年とくに大切にされるようになりました。この観点からは、陪餐するすべての人びとが一つの食卓に連なる共同体の一員であるということが重要な強調点となります。

A 12：すでにA7で述べたように、古代の教会では、洗礼、堅信、初陪餐は一体のものであったと言えます。そして後に、事情によってそれらが離れていきました。主教がその場にいる成人の洗礼であれば、同時に堅信が行われ、陪餐へと続くことがふさわしいこともすでに述べました。しかしそうでなければ、洗礼から陪餐へ、そして後日、可能な機会に堅信を受領するということは、現在広く認められた理解となっています。人がキリスト者となっていく過程は、生涯続く旅路です。洗礼から始まり、教会共同体の中で主の食卓・聖餐によって養われ、その後のふさわしい時に、堅信によって強められ、祝福され、宣教へと派遣されていくことは、この旅路において有意義であると理解しています。

Q 12：洗礼、堅信、陪餐という順序が変わっても良いというものでしょうか。